



<校訓>
自主
品位
根性

学校だより

岡山市立光南台中学校
No.11 令和4年2月1日

学校教育目標「**知・徳・体を磨き、自立した生徒の育成**」

「あいさつ」の力を地域へ！

中庭の
梅の花



3学期がスタートして、はや1か月が経ちました。コロナ禍の中ですが、なんとか無事に今年度を締めくくりたいものです。さて、今回の学校便りでは、始業式にお話しした内容を紹介したいと思います。

徳島県でのエピソードです。徳島県は、四国4県の一つですが、山が大変多い県です。山が多いということは、山道が多いということです。山道を下ってくる車は、スピードが出てしまいがちになりますが、ある地域では、横断歩道での車の一旦停止率が9割を超えており、信号のない危険な横断歩道でも、歩行者が安全に渡れる状態に変わったそうです。なぜ、信号機もないのに、車は一旦停止をちゃんとするようになったのでしょうか…。そこにはある素晴らしい行動があったのです。

車の一旦停止率が9割を超えている横断歩道の近くには小学校があり、小学生は、いつも車の通行に気をつけながら、横断歩道を渡っていました。信号機もついていないので、以前は本当に危険な道路だったそうです。そこがいつの間にか安全な道路に変わった要因は何かというと、横断歩道を渡る小学生の「おじぎ」にあったのです。小学生は、横断歩道を渡り終えたあと、止まってくれた車に、ありがたいの気持ちを込めて、丁寧に「おじぎ」をすることが、だれがいつから始めたのか分かりませんが、いつの間にか習慣になっていったそうです。ペこりと「おじぎ」をされた、車の運転手さんたちも、この小学生の行動をみると、ほっこりと優しい気持ちになり、いつしか、必ず一旦停止をちゃんとするようになったのだそうです。

さて、話を私たちの地域に戻したいと思います。光南台中学校区はどうかと思っただけ、生徒の皆さんの強みは、「あいさつ」です。2学期末に行った「教育に関する総合調査」の結果ですが、生徒の質問項目のほとんどが、岡山市を上回る結果となっています。その中でも、特に優れている項目は、「私は、地域の人に進んであいさつをしている」という項目で、肯定的回答が93.3ポイントもあり、岡山市を10.4ポイントも上回っています。この、皆さんの強みを是非もっともっと生かして欲しいと思います。今、校内では、立ち止まってのあいさつが習慣化しています。大変すばらしいと思います。これを次には、是非、地域の方に向けても行っていきたいです。私も、近所の子どもから「こんにちは」とあいさつされると、とてもうれしく、元気になります。皆さんの「あいさつ」で地域の皆さんを元気にしてください。「あいさつ」で、地域の方と繋がってください。

コロナ禍がまだまだ長引いています。そんな中、地域の方を元気にするのは、皆さんの「あいさつ」だと思います。徳島の小学生が、「おじぎ」で、交通安全を推進したように、皆さんの「あいさつ」で、光南台中学校区を盛り上げていきましょう。



生活委員による朝のあいさつ運動

寒さに負けず、「ABCDの法則」を 頑張っています。

今年の寒さは例年になく厳しいですが、そんな中でも生徒たちは、寒さに負けず、「ABCDの法則 ～A：あたりまえのことを B：馬鹿にしないで C：ちゃんとやれる人こそ D：できる人～」を実践しています。

コロナ感染予防の「マスクの着用」「手洗い」「手指消毒」「給食での黙食」「教室の常時換気」をきちんと行い、また、毎日の掃除で自分たちが生活している場所をきれいな状態に整えています。先日、きちんと床を雑巾がけしている姿を見ました。小学校から身に付いている掃除の仕方ですが、中学生になってもいい加減にすることなく、できている姿に感動しました。

3学期始業式から整っている下駄箱



丁寧に床を雑巾がけしている様子

3年「面接指導」



1月14日（金） 3年生の面接指導
全教員で分担して、一人一人面接練習をしました。

2年「弁論大会」



1月21日（金） 総合的な学習の時間で、2年生弁論大会を実施しました。自分の考えを人に伝えるというアウトプットの活動は、必要な資質・能力の育成につながる取組です。

図書委員会「百人一首大会」



【成績】 総合1位 1年松中さん 2位 3年村上さん
3位 1年山本さん 4位 3年岡田さん

【弁論発表後の振り返り】

- 原稿を覚えて、自分の体験を言ったり、大事な所は間をあけたりするなどの工夫をすることができた。次回は、聞いている人に問いかけをしたり、もっと堂々と発表できるようにしたい。
- 今回の弁論は、全て覚えることができました。本番は、緊張して2・3回は原稿を見てしまったけど、ほぼ見ずにはきはきとしやべれたし、手を挙げてもらう工夫などもできました。